



OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド (Excel ブラウザマッピング /ヘッダー明細)

Ver.1.3

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/19	新規作成
1.1	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.2	2021/09/06	OPROARTS Designer へのログイン方法について追記
1.3	2025/09/01	4.1 接続アプリケーションのインストールについて追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。

なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for Salesforce をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに.....	5
2. 全体の流れ.....	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 デザインの作成	8
3.2 テンプレートの新規作成	9
3.3 基本操作の紹介.....	11
3.4 実際に作る	13
4. 項目のマッピング	17
4.1 1st Salesforce へのログイン.....	17
4.2 2nd 起点オブジェクトの選択.....	18
4.3 3rd 明細オブジェクトの選択.....	18
4.4 4th 明細オブジェクトの詳細.....	19
4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択	20
4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング	20
5. 出力アクションの作成.....	24
5.1 詳細ページに出力アクションを配置する.....	24
5.2 リストページに出力アクションを配置する.....	31

1. はじめに

ここでは Connector for Salesforce で出力する帳票を作成するにあたって重要な「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1									
2						見積番号	Q-0001		
3						発行日	2017/10/23		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16	商品コード	商品名		単価	数量	全額			
17	00001	商品1		100,000	1	100,000			
18	00002	商品2		100,000	1	100,000			
19	00003	商品3		100,000	1	100,000			
20	00004	商品4		100,000	1	100,000			
21	00005	商品5		100,000	1	100,000			
22							合計	500,000	
23							消費税	40,000	
24							総合計	540,000	
25									
26									
27							(備考)		
28									
29									
30									
31									
32									

・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。
ヘッダーやフッター

・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。
「繰り返し領域」ともいう。

Salesforce のオブジェクトデータからこのヘッダー明細型帳票を作る場合、

非明細部: 起点となるオブジェクト、または関連オブジェクトのレコード(単一レコード)項目

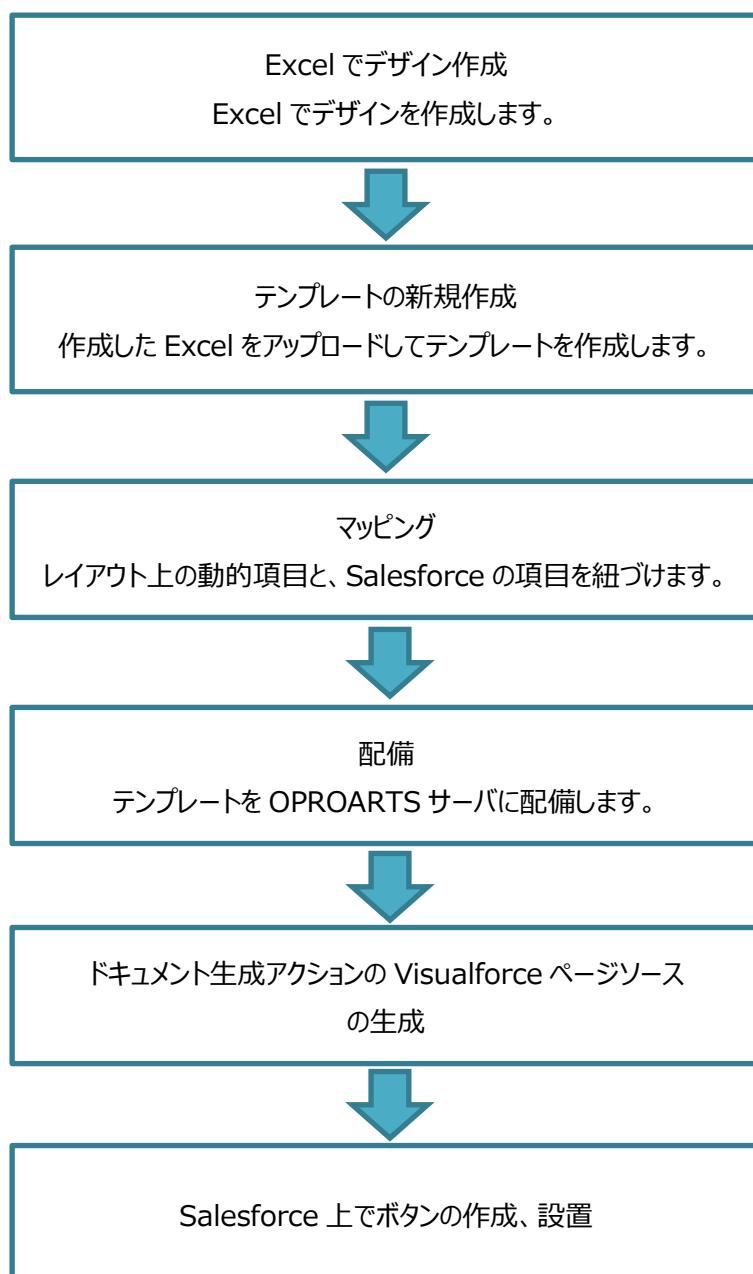
明細部: 起点となるオブジェクトの子オブジェクトのレコード(複数レコード)項目

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

つまり、非明細部に用いる起点オブジェクトと明細部に用いる子オブジェクトは 1 対 n の関係になります。

2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような Excel 帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	サンプル帳票							①	
3								2019/06/18	
4	サンプル取引先							②	
5									
6	商品名								
7	SLA: Bronze								
8	SLA: Gold								
9	SLA: Platinum								
10	SLA: Silver								
11									
12	備考								
13	説明です。								
14	④								
15									
16									
17									
18									
19									
20									

番号	内容
①	帳票出力した日付
②	商談オブジェクトに紐づく取引先名
③	商談オブジェクトの子オブジェクトである商談商品オブジェクトの商品名
④	商談オブジェクトの説明項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

Excel での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html#designer_livexlsff

3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



Point

セットアップガイドの「3.1 「LAD」ライセンスの登録」の設定ができていれば、「OPROARTS」タブの画面に[START]ボタンが表示されます。

そちらをクリックすることで、ログイン可能です。



文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタム

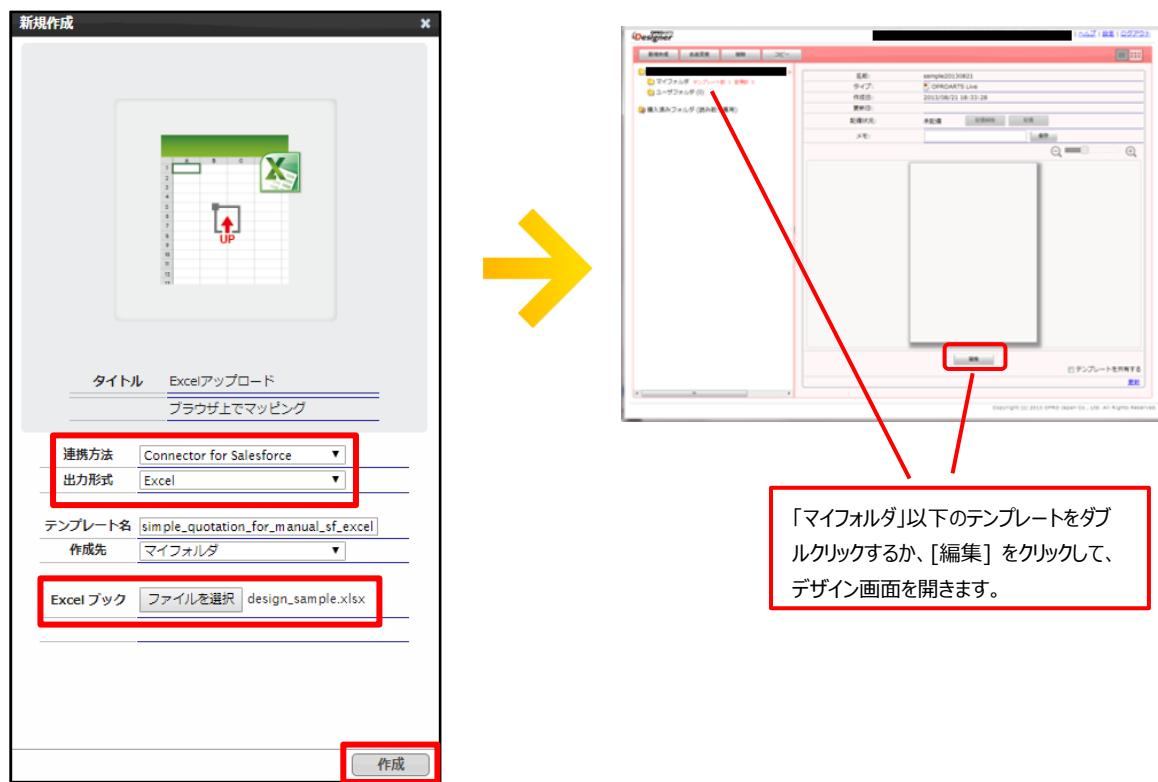
ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。

連携方法「Connector for Salesforce」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力してください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナ上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

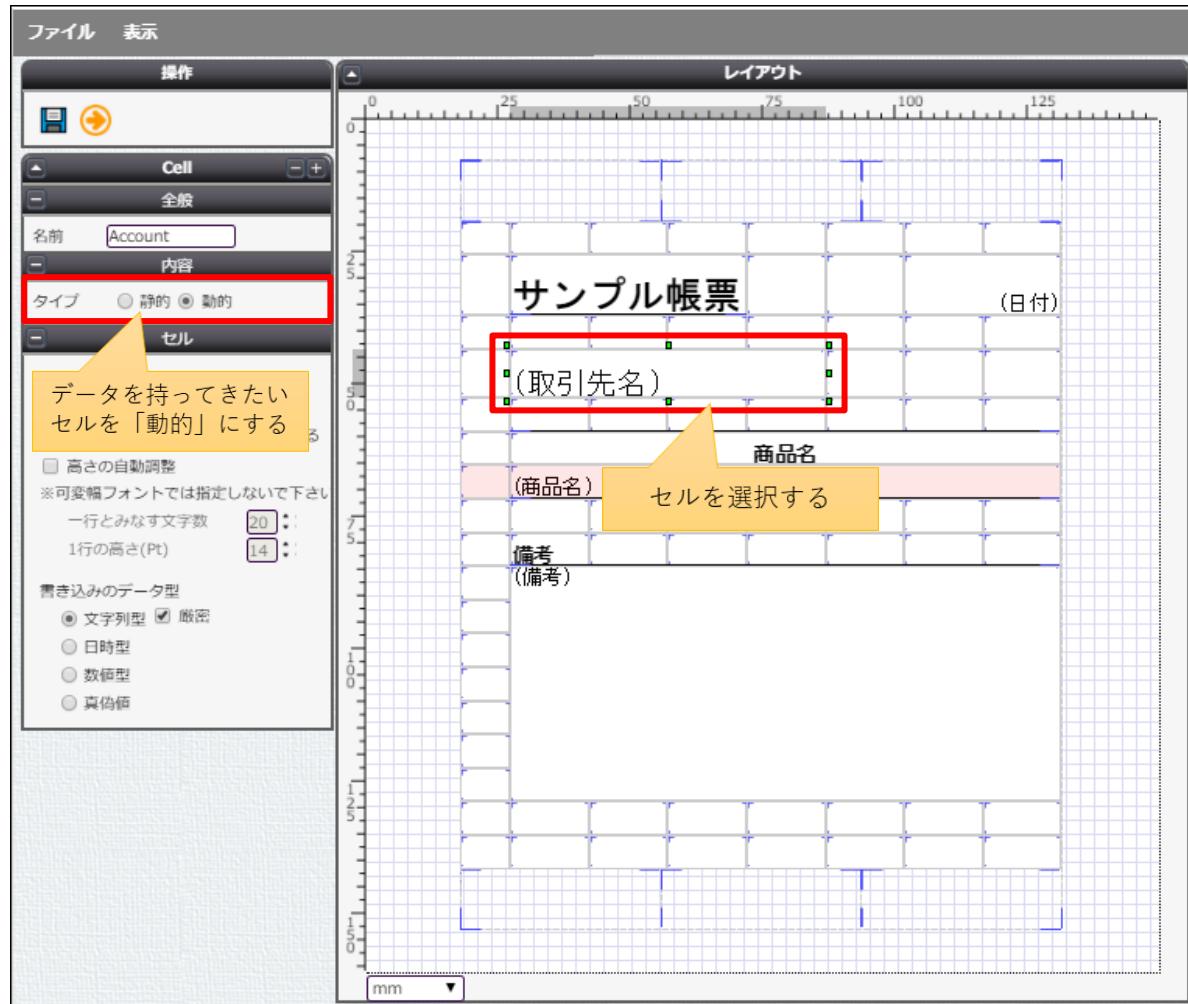
※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイナ上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。
静的 …… 固定の文言を表示します。
動的 …… Salesforce のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書き	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

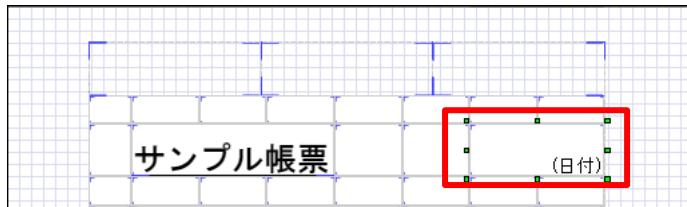
名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

3.4 実際に作る

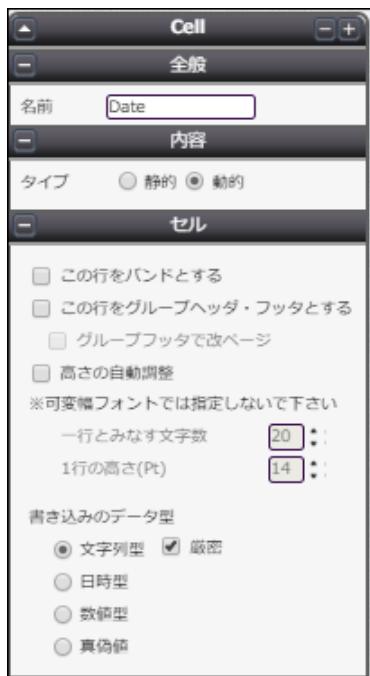
ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

1. 日付

帳票を出力した日付を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。



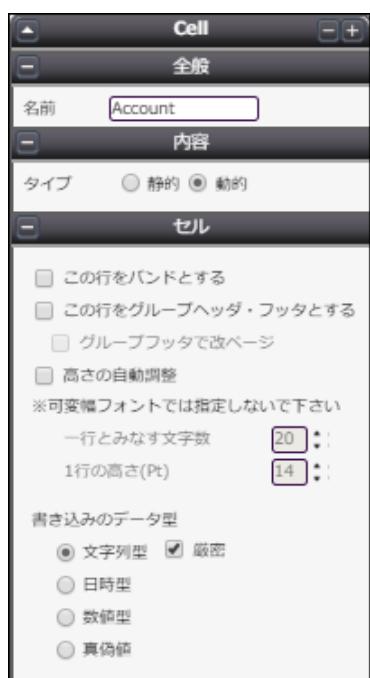
- 名前 : Date
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

2. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。



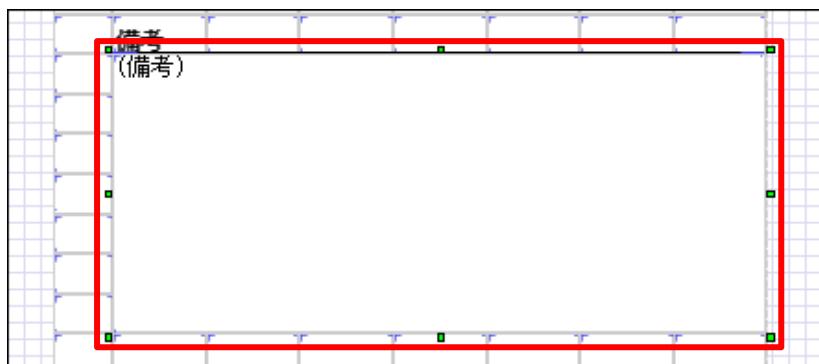
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

3. 備考

備考を表示したいセルをクリックします。



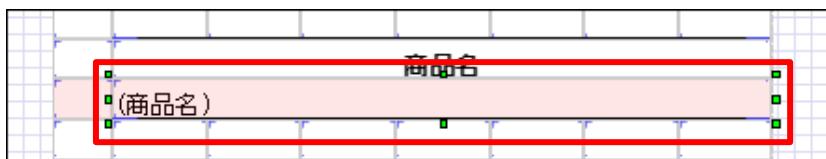
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Remarks
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

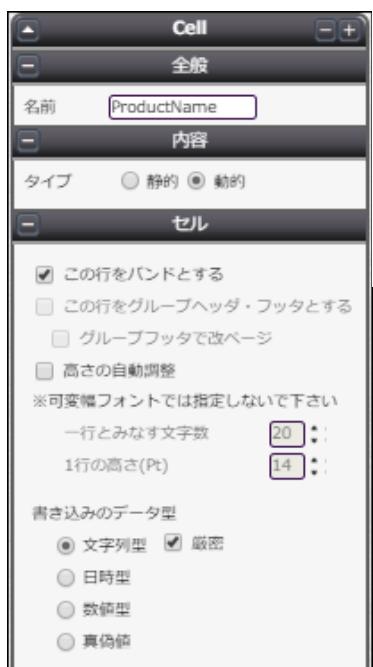
4. 商品名

商品名を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。



- 名前 : ProductName
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

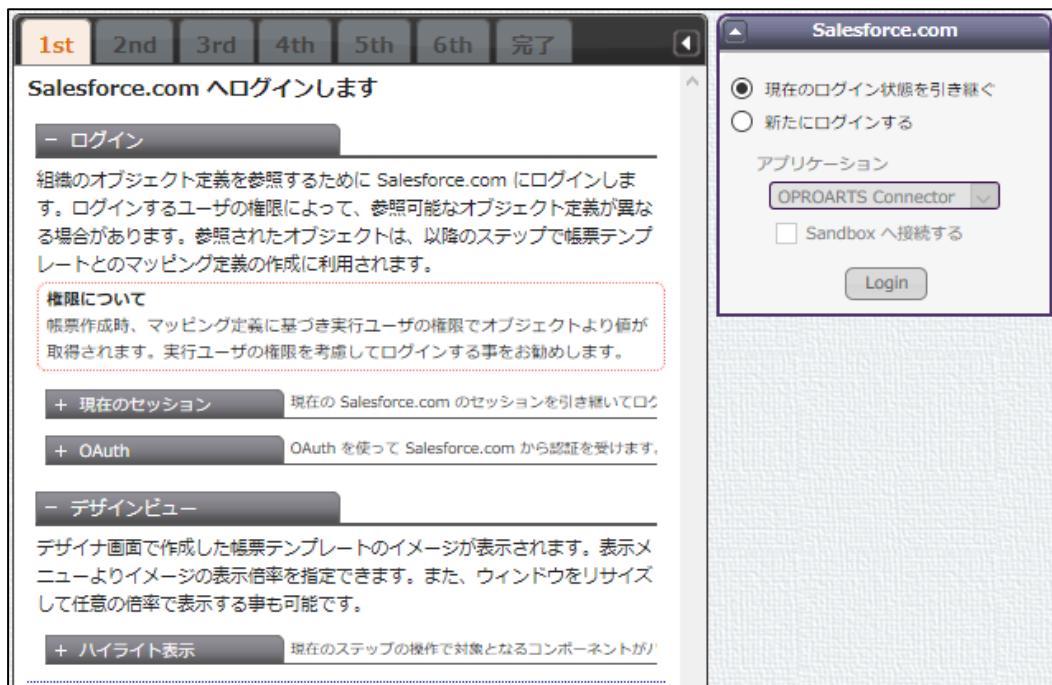
以上の設定が終わったら、保存ボタン()をクリックして、矢印ボタン()でマッピングへ進みます。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに Salesforce の項目をマッピングします。

4.1 1st Salesforceへのログイン

出力したいオブジェクトコードが存在する Salesforce 組織へログインします。



注意

「新たにログイン」をクリックした場合、OAuth 認証が行われます。

以下の手順に沿って、**接続アプリケーションのインストールを必ず行ってください。**

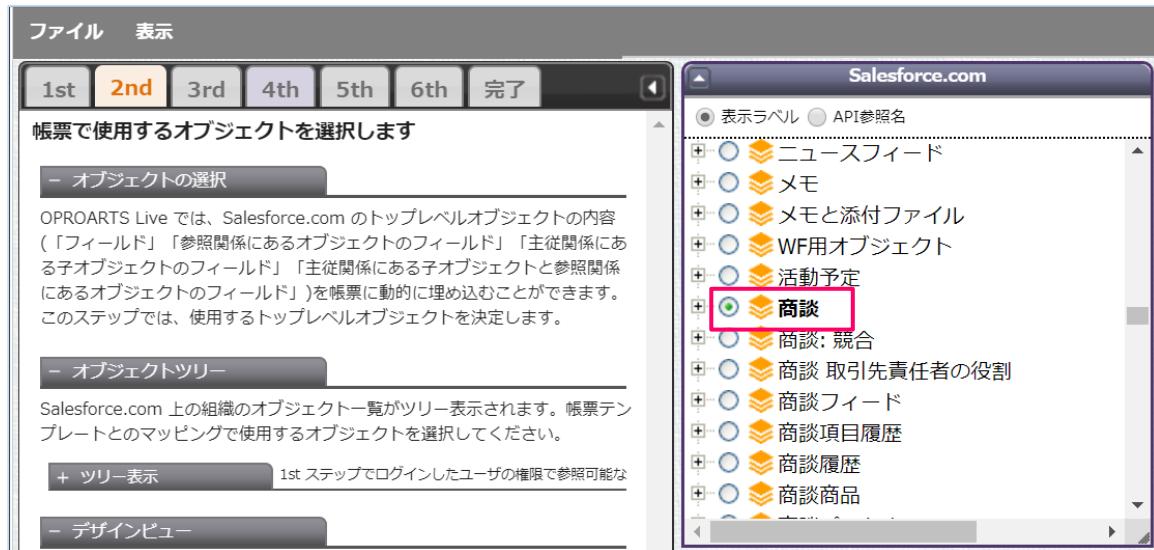
[接続アプリケーションのインストール\(OPROARTS Designer\)](#)

※接続アプリケーションのインストールを行わないと、OPROARTSDesigner を使用できなくなります。

4.2 2nd 起点オブジェクトの選択

使用するオブジェクトの中で起点となるものを指定します。

ここでは商談オブジェクトを指定します。



ファイル 表示

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 完了

帳票で使用するオブジェクトを選択します

- オブジェクトの選択

OPROARTS Live では、Salesforce.com のトップレベルオブジェクトの内容（「フィールド」「参照関係にあるオブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」）を帳票に動的に埋め込むことができます。このステップでは、使用するトップレベルオブジェクトを決定します。

- オブジェクトツリー

Salesforce.com 上の組織のオブジェクト一覧がツリー表示されます。帳票テンプレートとのマッピングで使用するオブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 1st ステップでログインしたユーザの権限で参照可能な

- デザインビュー

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

- + ニュースフィード
- + メモ
- + メモと添付ファイル
- + WF用オブジェクト
- + 活動予定
- + **商談**
- + 商談: 競合
- + 商談 取引先責任者の役割
- + 商談 フィード
- + 商談 項目履歴
- + 商談履歴
- + 商談商品

4.3 3rd 明細オブジェクトの選択

明細に使用する子オブジェクトを選択します。

ここでは OpportunityLineItems を指定します。



ファイル 表示

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 完了

明細部で使用する子オブジェクトを選択します

- 明細オブジェクトの選択

OPROARTS Live では、トップレベルオブジェクトの子オブジェクトの内容（「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」）を、明細として帳票に動的に埋め込むことができます。このステップでは、明細部で使用する 1st ステップで選択されたトップレベルオブジェクトの子オブジェクトを選択します。

- オブジェクトツリー

2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が定義されている子オブジェクト一覧がツリー表示されます。帳票テンプレートの明細部で使用する子オブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が定義されています。

- 明細部

帳票内で繰り返して出力が行われる部分（表形式での出力など）です。このステップで選択する子オブジェクトは、トップレベルオブジェクトと「1対多」の関係（主従関係）が定義されていますので、これを繰り返し出力に使います。

+ 対象コンポーネント デザイン画面で「Dataset Table」「Horizontal Data

- デザインビュー

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

- 商談
- 子オブジェクト
 - AccountPartners
 - ActivityHistories
 - Attachments
 - ContentDocumentLinks
 - FeedSubscriptionsForEntity
 - Events
 - Notes
 - NotesAndAttachments
 - OpenActivities
 - OpportunityCompetitors
 - OpportunityContactRoles
 - Feeds
 - Histories
 - OpportunityHistories
 - OpportunityLineItems**
 - OpportunityPartnersFrom
 - Shares
 - Partners
 - ProcessInstances
 - ProcessSteps
 - Tasks

4.4 4th 明細オブジェクトの詳細

明細データの表示順や抽出条件を指定します。

The left side shows the OPROARTS Live configuration screen with tabs: 1st, 2nd, 3rd, 4th (highlighted in orange), 5th, 6th, and 完了. The '4th' tab is titled '明細オブジェクトの詳細を設定します。' (Configure Detail Object Details). It contains a '並べ替え' (Sort Order) section with a note: '並べ替え'が無指定の場合、繰り返し出力の並び順は不定となります。「並べ替え」を指定することをお勧めします。 (If 'Sort Order' is not specified, the order of repeating outputs is undefined. It is recommended to specify 'Sort Order'.) Below is an 'オブジェクトツリー' (Object Tree) section with buttons: + ツリー表示 (Tree View), + 抽出条件 (Export Conditions), + 並べ替え (Sort Order), and - デザインビュー (Design View).

The right side shows the Salesforce 'Setup' interface for the 'PricebookEntry' object. The '並べ替え' (Sort Order) section is highlighted with a red box. The '並べ替え' checkbox is checked, and the value 'PricebookEntry.Name ASC' is entered in the input field. The '並び替え' (Sort Order) section is also highlighted with a red box.

ここでは明細の並べ替えで商品名(※)を昇順指定しています。

並び替え対象の項目を「並び替え」の欄にドラッグ & ドロップしたのち、

昇順: ASC

降順: DESC

を末尾に追加することで指定可能です。

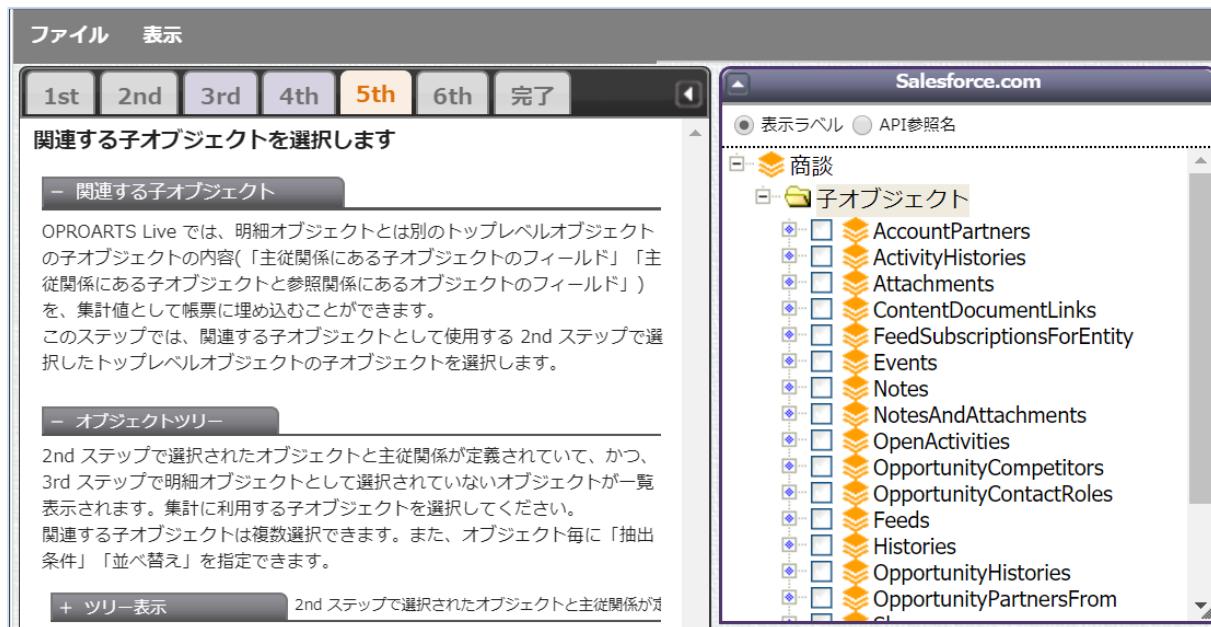
※「価格表エントリ ID」のフォルダー左横にある[+]をクリックすることで階層ツリーが展開され、「商品名」項目が表示されます。

4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択

関連リストの指定をします。

明細以外の子オブジェクトの選択、抽出条件、並び順の指定が可能です。

この設定は省略可能です。



関連する子オブジェクトを選択します

- 関連する子オブジェクト

OPROARTS Live では、明細オブジェクトとは別のトップレベルオブジェクトの子オブジェクトの内容(「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」)を、集計値として帳票に埋め込むことができます。

このステップでは、関連する子オブジェクトとして使用する 2nd ステップで選択したトップレベルオブジェクトの子オブジェクトを選択します。

- オブジェクトツリー

2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が定義されていて、かつ、3rd ステップで明細オブジェクトとして選択されていないオブジェクトが一覧表示されます。集計に利用する子オブジェクトを選択してください。

関連する子オブジェクトは複数選択できます。また、オブジェクト毎に「抽出条件」「並べ替え」を指定できます。

+ ツリー表示 2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が

Salesforce.com

表示ラベル API参照名

商談

子オブジェクト

- AccountPartners
- ActivityHistories
- Attachments
- ContentDocumentLinks
- FeedSubscriptionsForEntity
- Events
- Notes
- NotesAndAttachments
- OpenActivities
- OpportunityCompetitors
- OpportunityContactRoles
- Feeds
- Histories
- OpportunityHistories
- OpportunityPartnersFrom

4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング

デザイン画面で動的項目に設定したラベル名がマッピングの項目で表示されます。

各ラベルについて、表示したい項目を選択します。

フィールド マッピング		
コンポーネント	タイプ	データ
Date	Cell	TODAY()
Account	Cell	Opportunity.Account.Name
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name
Remarks	Cell	Opportunity.Description

■ 日付

コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

式>システム関数>TODAY()を「編集」パネルの「データ」にドラッグ & ドロップします。

フォーマット>日付時刻の形式>「yyyy/MM/dd」を「編集」パネルの「フォーマット」にドラッグ & ドロップします。

■ 取引先名

コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	yyyy/MM/dd
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

参照フィールド>「取引先 ID」>「取引先名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ & ドロップします。

■ 備考

コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

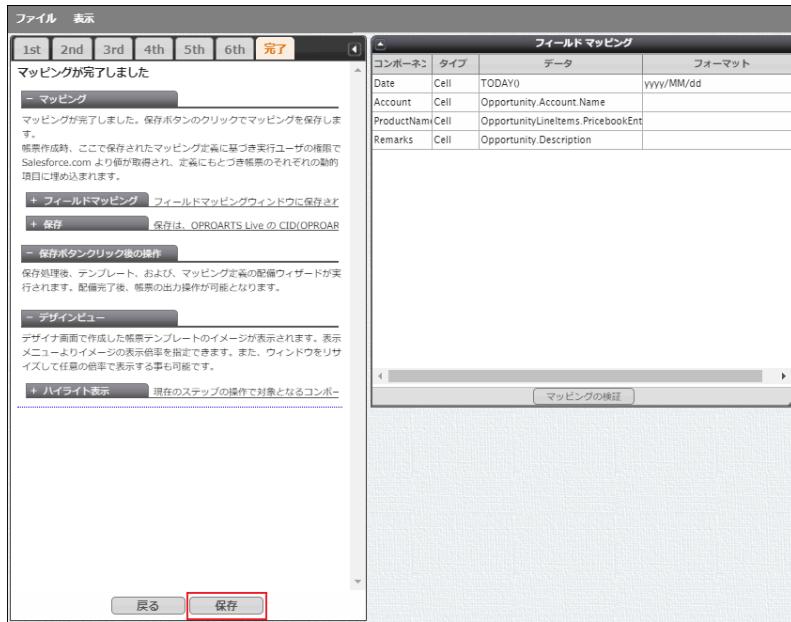
参照フィールド>「説明」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ & ドロップします。

■ 商談商品名

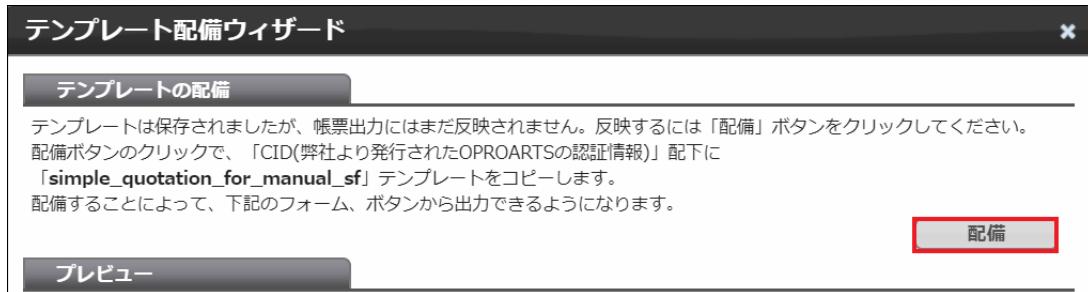
コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

明細オブジェクト>「価格表エントリ ID」>「商品名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ & ドロップします。

マッピングが完了したら[次へ]をクリック、その後[保存]をクリックし、



テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。



※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. 出力アクションの作成

Salesforce のレコード画面から帳票を出力するアクションを作成します。

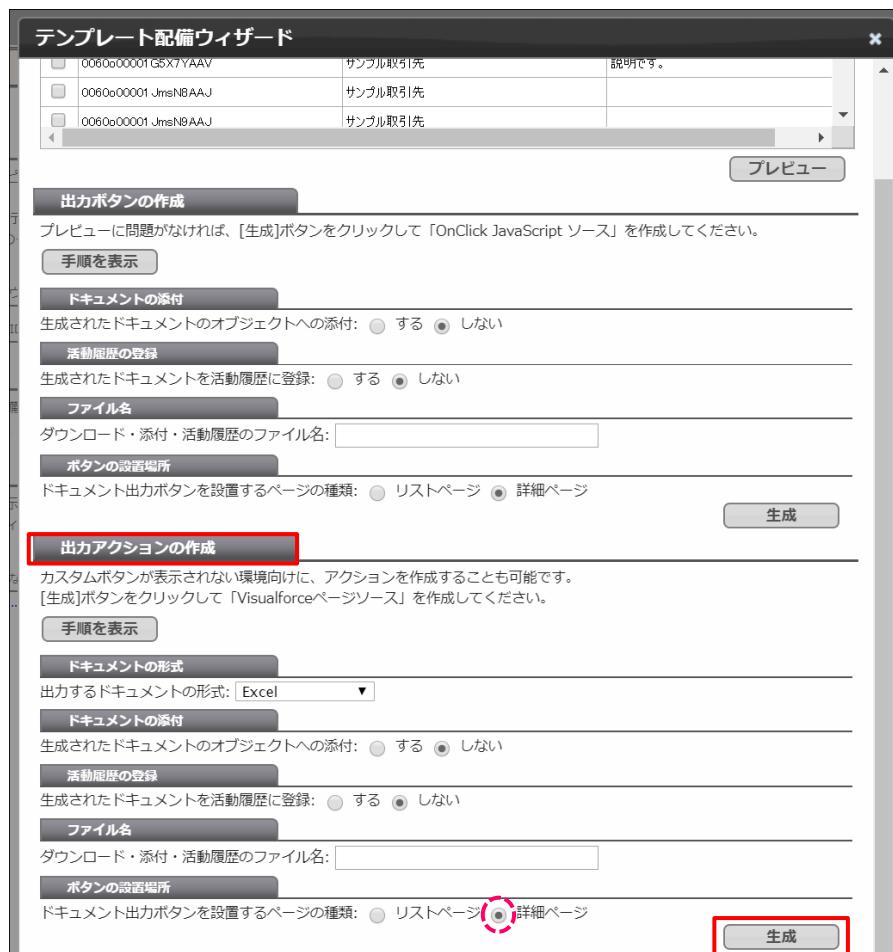
Salesforce のレコード画面から Connector for Salesforce で帳票出力をするためには、出力をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

ここでは、1. 詳細ページに出力アクションを配置する場合と、2. リストページに出力アクションを配置する場合を説明します。

5.1 詳細ページに出力アクションを配置する

- テンプレート配備ウィザードの「出力アクションの作成」で[生成]ボタンをクリックします。

※サンプルテンプレートは商談情報をマッピングしているので、商談に出力アクションを設置します。



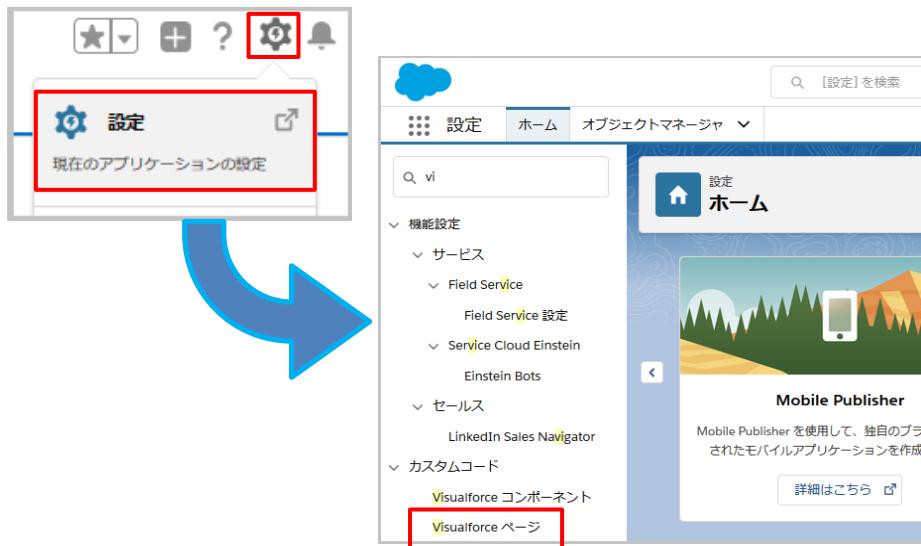
2. 表示されたソースを全選択してコピーします。



```
<!-- このコードは OPROARTS Live - Force.com API の利用サンプルとして OPROARTS Live サーバで生成されました。 -->
<!-- OPROARTS Live - Force.com API の情報は、https://www.oproarts.com/support/ からご覧になれます。 -->
<!-- Visualforce の情報は、http://www.salesforce.com/developer/docs/pages/index.htm (Salesforce.com) からご覧になれます。 -->
<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>custom button</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
  <div class="slds-p-vertical_x-small">
    <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
    <p class="slds-text-body_regular">
      <a href="#" onclick="submitAction();>自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
    </p>
  </div>
</div>
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.40.js"></script>
<script type="text/javascript">
function submitAction() {
  OPROARTS.Live.FF.action({
    // tp: 配備済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
    // このパラメータを省略することはできません。
    // ※ 出力形式がExcel ブックやWord 文書の場合、テンプレート作成時に指定したエクセルブックの拡張子を付与してください。
    tp:<

```

3. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



4. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



The image shows two screenshots of the Salesforce Visualforce page creation interface. The top screenshot shows the initial 'Visualforce ページ' (Visualforce Page) screen with a 'New' button highlighted in a red box. The bottom screenshot shows the 'ページの編集' (Edit Page) screen where the '表示ラベル' (Label) is set to '見積' (Estimate) and the '名前' (Name) is set to 'mitumori'. The 'Visualforce Markup' tab is selected, showing the generated Visualforce code. A large red box highlights the entire code editor area.

表示ラベル(例)

見積

名前(例)

mitumori

「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

2 でコピーした内容

5. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



6. [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



7. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力

オブジェクト名	商談 i	保存	キャンセル
アクション種別	カスタム Visualforce i		
Visualforce ページ	見積 [mitumori] i		
高さ	250 ピクセル i		
標準の表示ラベル種別	--なし-- i		
表示ラベル			
名前			
説明			
アイコン	 アイコン変更		
保存 キャンセル			

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

変更なし

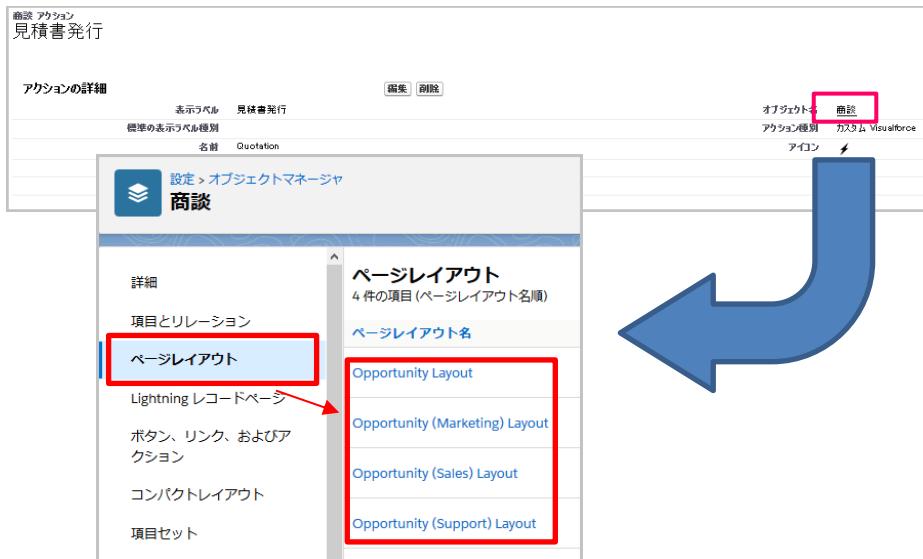
表示ラベル(例)

見積書発行

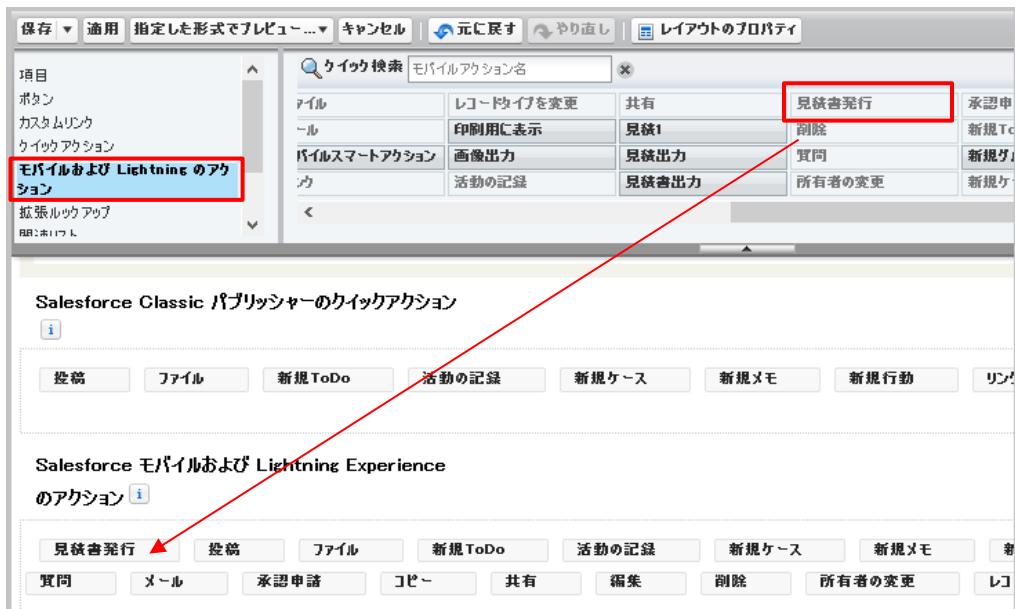
名前(例)

Quotation

8. 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



9. レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



10. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。

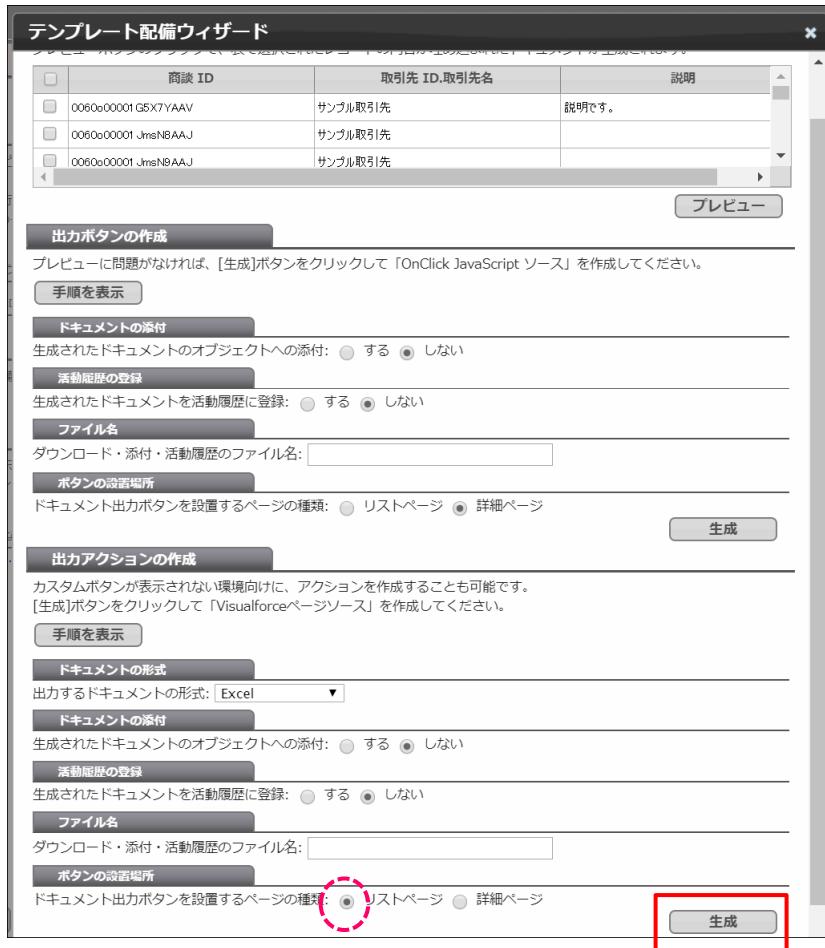


11. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。

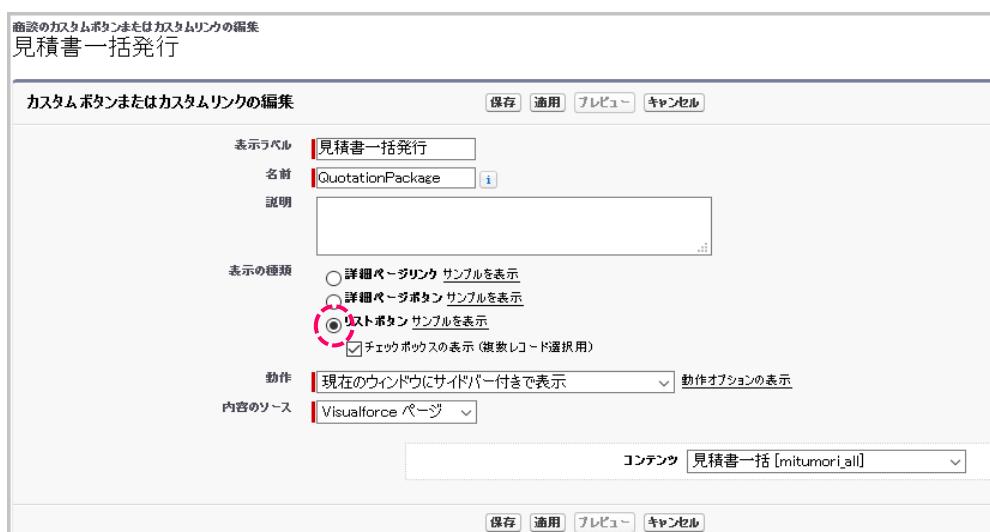


5.2 リストページに出力アクションを配置する

- テンプレート配備ウィザードダイアログのリストページを指定して[生成]ボタンをクリックし、表示されたソースをコピーします。



- 詳細ページの出力アクション 2~6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



表示ラベル(例)

見積書一括発行

名前

QuotationPackage

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

3. 設定> オブジェクトマネージャ> 商談画面の[Salesforce Classic の検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。
※ [Salesforce Classic の検索レイアウト]メニューがない場合、[検索レイアウト]メニュー内のリストビューを編集します。



4. 2 で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。



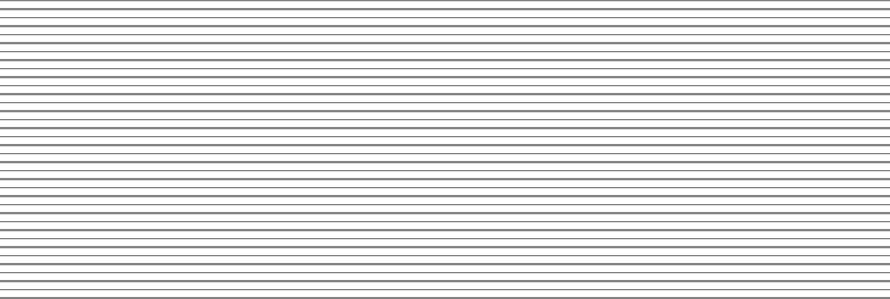
5. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



※補足

リストビューから帳票出力した場合、詳細ページから出力できる Excel ブックが画面に表示されているレコードすべてについて生成され、1 つのアーカイブファイルにまとめられて出力されます。



OPROARTS Connector
for Salesforce
ユーザーガイド
(Excel ブラウザマッピング
/ヘッダー明細)